

## シェフラーオートモーティブシンポジウム 2026

### 快適性・利便性・安全性・走行安定性の向上へ： シェフラー、シャシー&ボディ分野の製品イノベーションを 牽引

- 振動減衰、ステアリング、ブレーキ、センサーなど、進化するモビリティ要件に対応する革新的技術を開発
- キーレスエントリー、センサークリーニングシステム、フォースフィードバックアクチュエーターなど、「シャシー&ボディ」分野におけるシェフラーの革新技術をスマートコネクティビティで連携し、快適性・利便性・安全性・走行ダイナミクスを向上
- 「第 13 回シェフラーオートモーティブシンポジウム」では、スマートコネクティビティによる快適性・安全性・走行性能の向上プロセスを紹介

2026 年 5 月 22 日 | Bühl / Yokohama

電動化・自動化・ソフトウェア化により車両アーキテクチャーが複雑化する現在、シャシーおよび車体向けの新技术は、モビリティ転換に向けた重要なイノベーション分野となっています。「モビリティの変革を視野に、シャシーおよび車体分野にはシェフラーにとって大きな市場ポテンシャルがあります。当社の革新技術は、快適性、利便性、操作性、安全性を新たな次元へと引き上げ、自動運転車両プラットフォームの重要な基礎を築きます。」と、Schaeffler AG パワートレイン & シャシー CEO の Matthias Zink は述べています。

6 月にドイツ・ビュールで開催される「第 13 回 シェフラーオートモーティブシンポジウム」では、モーションテクノロジーカンパニーであるシェフラーが展開する技術クラスターの一つ「シャシー & ボディ」分野における最新の製品ソリューションを紹介します。シェフラーは、システムベースの開発手法を一貫して採用し、完全統合型コンポーネントを社内開発することで、パワートレインの種別を問わず、最新の車両が求める主要要件に確実に応えています。シェフラーが目指すのは、メカトロニクスソリューションをインテリジェントに統合し、走行性能とユーザーエクスペリエンスの違いを、乗る人すべてが明確に体感できるレベルへと引き上げることです。

#### インテリジェントセンサーの使用

シェフラーのソリューションは、センサーフュージョンを最大限に活かしています。車両内の多様なセンサーから得られるデータを統合的に評価することで、あらゆる走行状況において信頼性の高い判断をサポートします。例えば、アクティブダ

ンピングでは、周囲環境データを総合的に解析し、最適な制御を実現します。

シェフラーは、電動モーター、ギアボックス、ソフトウェアソリューション、そして各種センサーをインテリジェントに連携させることで、卓越した車両性能、精度、安全性を実現しています。「未来のモビリティを支える高度にネットワーク化された車両アーキテクチャーに向けて、シェフラーは、実績ある包括的なセンサーポートフォリオを基盤とした高精度で信頼性の高いソリューションをすでに提供しています。」と、パワートレイン&シャシー部門 CEO の Matthias Zink は述べています。「当社の革新技术は、加速・減速・横力を精密に制御し、乗員の快適性と利便性を最大限に高めます。また、車室内および車両アクセスに関する自動化機能や監視システムにも対応しています。」

### ステアリングと操作性を向上するシャシーシステム

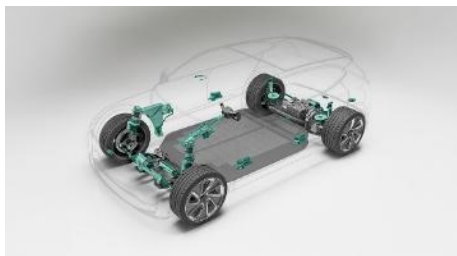
シャシー分野では、未来の車両アーキテクチャー向けに、リアホイールステアリングやフォースフィードバックアクチュエーターを備えたステア・バイ・ワイヤーなど、最新の電動ステアリングシステムに加え、車載 HMI (ヒューマンマシンインターフェース) と呼ばれる新しいタイプの操作機器を紹介しします。これらの技術は、車両の操作性を向上させるとともに、高度運転支援システムや自動運転機能の実現を後押しします。また、路面状況や走行状態に応じてリアルタイムで減衰力を調整し、非常に快適な乗り心地と優れた走行安定性 (ロードホールディング) を実現するセミアクティブおよびアクティブダンピング技術も、シェフラーが提供する革新的ソリューションのひとつです。低摩擦ホイールベアリングとの組み合わせにより、車両ダイナミクスの向上とエネルギー消費の低減にも寄与します。

### ステアリングを超えたイノベーション

車体分野では、車両へのアクセスをシームレスに自動化し、利便性と最新のセキュリティ機能を両立するキーレスエントリー技術をはじめ、優れたソリューションを提供しています。また、自動運転を支える先進のセンサークリーニングシステムは、厳しい環境下でもセンサー表面をクリーンに保ち、安全確保に不可欠な各種センサーが確実に機能するよう支援します。さらに、今回のシェフラーオートモーティブシンポジウムでは、車両全体の安全性向上、メンテナンス間隔の延長、粒子状物質の排出量低減といった新たな基準に対応する、新規開発の高性能ブレーキシシステムも紹介しします。

### 「シェフラーオートモーティブシンポジウム 2026」が示す革新的テクノロジー

ドイツ・ビュールで開催される「シェフラーオートモーティブシンポジウム 2026」では、「シャシー & ボディ」を含む 4 つの技術クラスターを軸に、最新の製品や技術を紹介しします。当社最大の顧客向けイベントである本シンポジウムでは、「Beyond Driving. Innovation made by Schaeffler (ドライビングのその先へ。シェフラーが実現するイノベーション)」を今年のテーマに掲げ、モビリティ分野における多彩な製品イノベーションを披露しします。



未来のモビリティをかたちづくるのは、快適性・利便性・安全性、そして高い操作性です。シェフラーのシャシーおよび車体向け新技術は、パワートレインの種類を問わず、最新の車両に新たな基準を打ち立てます。



未来の車両操作:「シェフラーオートモーティブシンポジウム 2026」では、人間工学に基づく設計と使いやすさの追求により安全性を高める、新しい車載 HMI(ヒューマンマシンインターフェース)を紹介します。



シェフラーの革新的なシャシー制御システム「MDA(Movement De-activation System)」が、車両の安定性を高め、振動を低減します。



シェフラーの新ブレーキシステムは、ブレーキダスト排出やメンテナンス負荷、ディスク鳴きといった課題を解消します。



シェフラーのハンズフリーアクセスセンサーは、幅広い車両アーキテクチャーに対応し、快適な非接触アクセスを実現します。



「第13回シェフラーオートモーティブシンポジウム」では、モーションテクノロジーカンパニーであるシェフラーが、ドイツ、欧州、そして世界のモビリティ分野の変革を牽引する主要プレイヤーであることを表明しています。

写真:シェフラー

注)本プレスリリースは現地時間2026年5月22日付でドイツ・ビュールにおいて英語で発行されたものの日本語訳です。原文の英文と日本語訳の間で解釈に相違が生じた場合には英文が優先します。

\*\*\*\*\*

## シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、80 年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティや CO<sub>2</sub>削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイダンスシステムから修理および監視サービスに至るまで、8 つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約 11 万人の従業員と 55 か国に約 250 以上の拠点を有し、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。